

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月31日

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C		
横断的な課題	人口減少下における人材確保						
地域重点政策						木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局 企画振興課			担当課	所属	企画振興課	
事業名	ふるさとの思い出品造成事業				電話	0264-25-2212(直通)	
					E-mail	kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	地域の産業を活用した卒業記念品を贈呈し、ふるさとへの想いを深めてもらう。あわせて地域産業振興による地域活性化を図る。					
	現状と課題	木曾地域には大学がなく、就職可能な企業も限られているため、就学、就職を機にふるさとを離れてしまう者が多い。今後も高齢化は加速するものと思われるため、若者の人口流出対策が不可欠である。					
	内容	【小学校卒業記念品作製】 木祖村の小学6年生を対象に実施する。 「日曜画家の村」を宣言している木祖村独自の小学校卒業記念品として、写真を単色印刷したものを自身で着色したオリジナルのキャンバスを製作、贈呈することで、ふるさとへの想いを深めてもらう。 また、地元の産業について興味を持ってもらうことで、将来の地元への就業を検討する機会とする。					
	事業期間	令和3年8月1日		～	令和4年3月25日		
事業費	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	卒業記念品製作	需用費(卒業記念品)	123,970	21名分+予備2セット(局、役場分)			
		需用費(消耗品)	13,200	3,000円×4セット×1.1			
合計		137,170					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	小学6年生全員へ卒業記念品贈呈		21名	23名	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	全国有数の額縁の産地にちなんで「日曜画家の村」を宣言している木祖村の木祖小学校6年生が地元企業が製造するキャンバスを使って卒業記念品を製作。この事業により、地元企業を知ってもらう機会となり、卒業の大切な思い出となった。また、完成品は卒業前に校内に飾ることで、さらに多くの方に地元企業を知ってもらえることができた。						
今後の方向性	今後は小学生よりも就職が身近である高校生を対象とし、対外的にPRできるものを制作していきたい。						